

施策評価(平成29年度)

1 基本項目

基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち
基本施策	2	自然と調和した安全で快適な都市の形成
施策	29	道路
基本方針		
だれもが安全で快適に利用できるよう道路・橋梁機能の充実や適正な維持管理に取り組みます。		

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
羽村駅自由通路の拡幅等整備	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
道路・橋梁の計画的な維持補修	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
主要幹線道路の整備	次年度以降計画を見直す	A	A	B	レベルアップ
道路案内標識の改善	次年度以降計画を見直す	A	A	A	現状のまま継続

3 施策評価結果

<p>施策29「道路」では、4事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、「主要幹線道路の整備」は、引き続き課題の整理などに取り組む必要があり、「道路案内標識の改善」では、平成29年度に関係機関との調整や、改善が必要な標識の精査を行ったことにより、「次年度以降計画を見直す」としている。</p> <p>また、「羽村駅自由通路の拡幅等整備」などの2事業は、「計画どおり完了」としており、滞りなく履行されている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)については、すべてA(適切なもの)と評価している。</p> <p>「主要幹線道路の整備」では、有効性(成果)において、具体的な整備計画等の検討に至っていないことから、B(課題があり、今後改善が必要なもの)と評価し、その他の事業については、A(適切なもの)と評価している。</p> <p>これらを踏まえた結果、施策29「道路」については、「主要幹線道路の整備」の進捗に課題はあるが、概ね順調に推移している。</p> <p>今後の方向性については、「主要幹線道路の整備」では、道路維持保全計画を踏まえ、道路の改修工事の必要性や無電柱化及び道路幅員構成等を検討し整備促進を図っていくことし、その他の事業については、引き続き「現状のまま継続」していくこととする。</p>
--

1.基本項目		作成部署	都市建設部			建築課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 羽村駅自由通路の拡幅等整備		平成 17 年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(全部)	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課	土木課、企画政策課					
基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	29	道路	重点事業No. 1

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが安全で快適に利用できるよう道路・橋梁機能の充実や適正な維持管理に取り組みます。
事業内容	駅利用者ならびに東西地区間の通路利用者の利便性や安全性の向上を図るため、羽村駅自由通路の拡幅等整備を進めます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	拡幅等整備の推進 店舗移転工事	同左 店舗移転工事 自由通路拡幅工事	同左 自由通路拡幅工事 東口階段工事	

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	240H	1人	240H	1人	240H	人	H
主事・主任職	1人	240H	1人	240H	1人	240H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	163,703	400,262	760,155	
人件費(係長職)	1,194	1,194	1,194	
人件費(主任・主事職)	816	816	816	
総事業費(合計)	165,713	402,272	762,165	
国庫支出金				
都支出金		32,100	131,400	
受益者負担額				
その他特定財源		180,000	328,631	
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	165,713	190,172	302,134	
財源内訳(合計)	165,713	402,272	762,165	

③コスト計算

ア 市民	56,079	人における1人あたりのコストは、	7,173	円
イ 対象者	56,079	人における1人あたりのコストは、	7,173	円
ウ 成果(物)		の 出来高		円

※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	羽村駅自由通路の拡幅等整備については、関係部署における総合調整会議等を行いつつ、綿密に報告、連絡を行い確実な対応を進めること。

②活動実績

羽村駅自由通路の拡幅等整備については、総合調整機能として企画政策課を中心に渉外対応を行うとともに、工事については、土木課や区画整理推進課、産業振興課などと連絡調整を行い、事業の円滑な推進を図ることができている。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	400,262	▲ 147,214	253,048	210,245	83.1%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	240 H	1人	240 H
主事・主任職	1人	240 H	1人	240 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
【平成29年度協定に基づく事業の進捗】 <input type="checkbox"/> 店舗移転の完了 <input type="checkbox"/> 自由通路拡幅の着手(全体工程に示す進捗)	【平成29年度協定に基づく事業の進捗】 <input checked="" type="checkbox"/> 店舗移転の完了 <input checked="" type="checkbox"/> 自由通路拡幅に着手(年度協定に基づく工事の進捗を図った)

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性 (必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性 (手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性 (成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

店舗の移転は、予定どおり完了することができた。今後も、駅利用者ならびに東西地区間の通路利用者の利便性や安全性の向上を図るため、自由通路の拡幅整備を計画的に進めます。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

羽村駅は毎日3万人近くの乗降客が利用する施設であることから、工事期間中の駅利用者の安全を確保について徹底し、東口階段の早期着手を働きかけるとともに、事業の円滑な推進に努めていきます。

1.基本項目		作成部署	都市建設部			土木課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 道路・橋梁の計画的な維持補修			年			
01	市道補修等工事	不明	年	継続	自治事務(独)	業務委託(部)
02	市道FWD調査委託	平成	28年	継続	自治事務(独)	業務委託(部)
03	羽村橋耐震補強等工事	平成	29年	今年度限り	自治事務(独)	業務委託(部)
04	羽村堰下橋外2橋点検業務委託	平成	29年	今年度限り	自治事務(独)	業務委託(部)
05			年			
関連課						
基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	29	道路	重点事業No. 2

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが安全で快適に利用できるよう道路・橋梁機能の充実や適正な維持管理に取り組みます。
事業内容	「羽村市道路維持保全計画」および「羽村市橋梁長寿命化修繕計画」に沿った、道路・橋梁の計画的な維持補修を行います。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	市道補修等工事(市道第202、1003、2003、2091号線 L=987m)	同左(市道第101、1002、1003号線 L=1,380m) (道路舗装修繕実施プログラムに基づく優先路線の整備)	同左	同左
	道路の舗装構造評価(FWD)調査 L=1,500m	同左 L=1,600m	同左 L=1,500m	同左 L=1,500m
	羽村堰下橋耐震補強等工事	羽村橋耐震補強等工事		
	堂橋耐震補強等工事	羽村堰下橋外2橋点検 (5年ごとの法定点検)		
	小作駅自由通路点検			

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	750H	2人	450H	1人	75H	1人	75H
主事・主任職	2人	150H	2人	225H	3人	300H	3人	300H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	217,810	121,135	78,474	79,578
人件費(係長職)	7,463	4,478	374	374
人件費(主任・主事職)	1,020	1,530	3,060	3,060
総事業費(合計)	226,293	127,143	81,908	83,012
国庫支出金	71,610	8,800		
都支出金	5,785	21,570	20,000	20,000
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金		16,000		
起債				
一般財源(人件費含む)	148,898	80,773	61,908	63,012
財源内訳(合計)	226,293	127,143	81,908	83,012

③コスト計算

ア 市民 56,079 人における1人あたりのコストは、 2,267 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	近年、資材の高騰や人手不足などの要因となり契約が不調となる事例が散見されるため、工事の早期設計、早期工事着手を基本として取り組んだ。

②活動実績

「羽村市道路維持保全計画」及び「羽村市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、道路・橋梁の維持保全を実施しており、現地測量等を早期に行い、早期の工事発注及び完了を目指し取り組み、当初計画通り実施した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	121,135	▲ 10,000	111,135	110,927	99.8%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	450 H	2人	450 H
主事・主任職	2人	225 H	2人	225 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○市道補修等工事 1,380m ○FWD調査委託 1,600m ○羽村橋耐震補強工事 ○羽村堰下橋外2橋点検	⇒ ○市道補修等工事 3路線 1,449m ○FWD調査委託 6路線 1,600m ○羽村橋耐震補強工事 ○羽村堰下橋外2橋点検

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必 当 要 性 性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手 率 法 性 性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成 効 果 性 性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

「羽村市道路維持保全計画」及び「羽村市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、道路・橋梁の維持保全を実施し、当初目標以上の実績となった。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

道路舗装の点検や調査を継続して実施することにより、随時状況を把握して、その結果及び各年度の予算査定等に基づいて、毎年度計画をローリングし実施する。

【今後の取組方針】

安全で快適な道路環境を維持するため、橋梁長寿命化修繕計画、道路保全計画及び道路補修修繕実施プログラムに基づき道路橋梁の維持補修を図る。

1.基本項目		作成部署	都市建設部			土木課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 主要幹線道路の整備		不明	年 継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	29	道路	重点事業No. 3

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが安全で快適に利用できるよう道路・橋梁機能の充実や適正な維持管理に取り組みます。
事業内容	市道第101号線・102号線(市役所通り)については、市のメインストリートにふさわしい道路環境となるよう再整備を計画的に進めていきます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	市道第101・102号線(市役所通り)再整備計画の検討	同左	関係機関との協議・調整	実施設計及び測量

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	1人	10 H	1人	10 H	1人	10 H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	1人	50 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費		0	0	8,100
人件費(係長職)		50	50	50
人件費(主任・主事職)				170
総事業費(合計)		50	50	8,320
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)		50	50	8,320
財源内訳(合計)		50	50	8,320

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

- 計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

市道第101・102号線の再整備については、今までも様々な視点から検討をされているが整備に至っていない。このことから社会情勢の変化など様々な視点から問題点等の抽出を実施している。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	0	0		0	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○市道第101・102号線(市役所通り)再整備計画の検討		○市道第101・102号線(市役所通り)再整備計画の検討

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 (工事手法の検討を進めるとともに、道路の維持保全に努め、必要な対策が図られている。)	A
有効性(成果) <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	B

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

市道第101・102号線については、道路維持保全計画を踏まえ道路舗装の修繕を実施した。引き続き、課題整理に取り組みメインストリートにふさわしい道路環境となるよう検討を続ける。

Action【改善】

8.今後の方向性

- 現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

市道第101・102号線については、道路維持保全計画を踏まえ、道路の改修工事の必要性や道路幅員構成等を検討し整備促進を図っていく。
また、道路整備に合わせ、景観及び防災面から無電柱化の実現に向け東京都と調整を図る。

【今後の取組方針】

市道第101・102号線(市役所通り)については、市のメインストリートにふさわしい道路環境となるよう再整備を計画的に進めて行く。

1.基本項目		作成部署	都市建設部			土木課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 道路の案内標識の改善		平成 30 年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	29	道路	重点事業No. 6

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが安全で快適に利用できるよう道路・橋梁機能の充実や適正な維持管理に取り組みます。
事業内容	東京2020大会を契機に、羽村市へ訪れる外国人にも、わかりやすい表記にするため、道路の案内標識の改善を進めます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	道路案内標識の改善箇所調査	関係機関との協議・調整 表記方法の検討	道路案内標識の改善 (約80枚)	道路地点名板・通称名板の 改善(約90枚)

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	1人	5H	1人	38H	1人	38H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費		0	7,700	8,000
人件費(係長職)		25	190	190
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)		25	7,890	8,190
国庫支出金			3,500	3,700
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)		25	4,390	4,490
財源内訳(合計)		25	7,890	8,190

③コスト計算

ア 市民	56,079	人における1人あたりのコストは、	<input type="text" value="1"/>	円
イ 対象者		人における1人あたりのコストは、	<input type="text" value=""/>	円
ウ 成果(物)		の出来高	<input type="text" value=""/>	円
※ 対象者:		のコストは	<input type="text" value=""/>	円

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

平成30年度、平成31年度の実施に向け、財源(社会資本整備総合交付金)の獲得等、関係機関と調整を図った。
また、交換が必要となる道路標識等の精査を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	0	0		0	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	5H	1人	5H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○関係機関との調整	○関係機関との調整

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他()	A
効(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他()	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

平成30年度、平成31年度の実施に向け、財源(社会資本整備総合交付金)の獲得等、関係機関と調整を図った。
また、交換が必要となる道路標識等の精査を行った。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に道路案内標識を外国人にもわかりやすい表記へ改善を図る。
平成30年度から平成31年度までに段階的に取替えを行う。